

英語科学習指導案（略案）

平成30年6月12日（火）
3年2組（教室） 佐藤 真一
James Smith

1. 単元名

Rakugo Goes Overseas（3年）

2. 本時のねらい

現在完了の経験用法を用いた言語活動（English Tower）で経験について尋ねたり答えたりすることによってその用法を理解し、自分自身の経験について表現することができる。

3. 展開

	生徒	JET	ALT
めあてをはっきり	<ul style="list-style-type: none"> ○クリスクロスをする。 <p>「これまでの学び」の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現在完了（継続用法と完了用法）の復習をする。 ○復習をすることで、後で経験用法の違いに気づきやすくなるようにする。 ○経験用法について ALT とデモンストレーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○クリスクロスで質問をする。 ○デモンストレーションで自分の経験について話す。
	<p>めあて 「経験」について尋ねたり答えたりしよう。</p>		
課題をじっくり	<ul style="list-style-type: none"> ○発音練習をする。 ○自身の経験をもとにオリジナルの質問を考える。 ○席を立ててクラスメイトに経験について質問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○質問に必要な単語がしっかり発音できるように活動に取り組む前に発音練習をしっかりとる。 ○自身の経験をもとにオリジナルの質問を考えるように指示する。低位の生徒に声がけをする。 ○活動が始まったら、机間巡視をし、“Nice voice!”や“Good experience!”などの声がけをしたり、つまづいている生徒がいたら支援したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発音練習をする。 ○机間巡視をして“This question is good.”などの声がけをする。 ○活動が始まったら、生徒と一緒に活動に取り組む。 ○机間巡視をし、“Nice voice!”や“Good experience!”などの声がけをする。 ○たくさん尋ねたり答えたりできたことをほめる。
まとめをしっかりと	<ul style="list-style-type: none"> ○現在完了の経験用法についてまとめる。 <p>自分の言葉による「ここでの学び」のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○継続用法、完了用法と比較しながら、経験用法についてまとめる。 ○過去形との違い（過去形は過去の1点を表す）と現在完了の違いにも触れ、現在完了は「今の時点で」を表していることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○JET の文法の説明を英語で通訳する。
	<p>まとめ 過去から現在までの経験を伝えたいときには現在完了の経験用法が利用できる。</p>		
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○挑戦課題として入試問題にチャレンジする。 ○文脈から現在完了の経験用法を読み取ることができる。 ○自身の体験について現在完了の経験用法を用いて表現することができる。 	<p>「ここでの学び」の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○入試問題を読み上げ、生徒に問いかける。手が上がらない場合はヒントとして自身の答えを伝え、生徒を指名し、答えさせる。 ○答えることができた生徒をほめる。

